

施策番号	1703		
施策名	食や生活環境の安全・安心の確保		
概要	食の安全・安心の確保や公共の場での禁煙の推進等，地域における衛生的で文化的な生活環境の向上により，市民や観光客の健康を守る取組を推進する。		
担当局・部室	保健福祉局・医療衛生推進室	共管局・部室	
上位政策	17 保健衛生・医療		
施策に関係する 主な分野別計画等	第2期京都市食の安全安心推進計画 京都市たばこ対策行動指針（第2次）		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名		27年度	28年度	29年度評価					
				前回数	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウエイト
1	参加型リスクコミュニケーション事業への参加者数(人)	-	-	268	330	266	124.1%	a	1.00
2	40歳以上75歳未満の非喫煙者の割合(%)	e	c	86.3	86.3	87.6	98.5%	d	1.00
3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
		e	c	客観指標総合評価				b	

2 市民生活実感評価 *この評価は，毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		27年度	28年度	29年度回答					
				そう思う	どちらかと言う そう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言う そう思わない	そう思わない	有効回答 者数
1	安心して食べられる食品が手に入るなど，衛生的な生活環境が整っている。	b	b	93	236	114	23	12	478
				19.5%	49.4%	23.8%	4.8%	2.5%	
2	公共の場では禁煙が進んでいる。	a	a	162	250	63	30	29	534
				30.3%	46.8%	11.8%	5.6%	5.4%	
3	-	-	-						
4	-	-	-						
5	-	-	-						
		a	a	市民生活実感調査総合評価					a

3 総合評価(客観指標総合評価＋市民生活実感調査総合評価)

A	施策の目的が十分に達成されている						
	重み付け	☐ 客観指標	b	☒ 市民の実感	a		
(重み付けの理由) 食品に対する安心感や公共の場での禁煙状況等については、全ての市民の生活に密接に関わる施策であるため、市民生活実感調査を重視する。						28 年度	B
(原因分析) 客観指標総合評価 ☒ b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。 ☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。							
(原因分析) 市民生活実感調査総合評価 ☒ b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。 ☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。						27 年度	C

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		29年度事務事業 評価結果における 目標達成度評価	担当局
		28年度 決算額	29年度 予算額		
1	食鳥検査	59,795	48,703	良い	保健福祉局
2	犬・猫の不妊手術	24,032	23,884	かなり良い	保健福祉局
3	食の安全・安心	128,991	132,018	良い	保健福祉局
4	家庭用品衛生対策	2,609	2,720	良い	保健福祉局
5	狂犬病予防	70,366	78,016	良い	保健福祉局
6	たばこ対策推進事業	65,254	83,834	かなり良い	保健福祉局
7	そ族昆虫駆除対策	118,799	85,093	良い	保健福祉局
8	営業関係(環境)	142,213	309,521	普通	保健福祉局
9	各種事業助成(京都府生活衛生営業指導センター研修活動事業補助金)	1,681	1,681	普通	保健福祉局
10	生活衛生関係営業者に対する相談業務委託	695	696	普通	保健福祉局
11	京都市市営墓地(旧:京都市共葬墓地)	50,371	61,173	良い	保健福祉局
12	京都市中央斎場	375,995	424,292	良い	保健福祉局
13	衛生環境研究所運営	608,308	589,323	良い	保健福祉局
14					
15					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

・生食肉や食品等の放射能汚染、また、社会問題化した冷凍食品の農薬混入事案や廃棄食品の不正流通事案等の事件・事故の発生により、食の安全安心に対する市民の関心は一層高まっているため、食品事業者だけでなく、市民一人一人の食の安全安心に対する意識向上、正しい知識の普及啓発を行い、安心できる食生活の実現を目指す。

・参加型リスクコミュニケーション事業については、市民等の食の安全安心に関する理解を促進するため、内容や伝達方法を工夫し、目的や対象に応じて効果的な形で推進していく(子供向けの事業では、「育てる側」の保護者にも併せて啓発する等)。

・学校における喫煙防止教育の実施など、教育委員会と連携した取組や、禁煙推進に取り組む民間団体との連携、共汗・融合の観点から総合的な施策の推進に取り組んでいく。

施策名	1703	食や生活環境の安全・安心の確保				
-----	------	-----------------	--	--	--	--

指標名	参加型リスクコミュニケーション事業への参加者数（人）					
-----	----------------------------	--	--	--	--	--

担当課	健康安全課	連絡先	2 2 2－3 4 2 9		
-----	-------	-----	---------------	--	--

1 指標の説明

参加型リスクコミュニケーション事業への参加者数（人）

2 指標の意味

市民等の食の安全安心に関する理解の促進に係る取組状況を示す指標

3 算出方法・出典等

算出方法：全数調査
出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		達成度
	27年度	28年度		数値	根拠	
数値	268	330	62人増	266	平成32年度目標値の達成に向け、中長期目標から各年度の目標を等差的に設定	124.1%

	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値		400	32年度	82.5%	京プラン実施計画 第2ステージ	

5 評価基準

最新数値の目標値に対する達成度が
a:100%以上
b:95%以上～100%未満
c:90%以上～95%未満
d:85%以上～90%未満
e:85%未満

6 基準説明

・目標値を達成すればa評価
・以下5%刻みでb～e評価
年度別目標値
(28年度 266人、29年度 299人、30年度 332人、31年度 365人、32年度 400人)

7 評価結果

27	28	29
-	-	a

1 指標の説明

40歳以上75歳未満のたばこを吸わない市民の割合

2 指標の意味

受動喫煙防止による健康増進への進捗状況を示す指標

3 算出方法・出典等

算出方法：京都市国民健康保険特定健康診査受診者実績から、非喫煙率を算出
出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		達成度
	26年度	27年度		数値	根拠	
数値	86.3	86.3	増減なし	87.6	中長期目標を達成するために当該年度達成すべき数値	98.5%

	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値		88.5	29年度	97.5%	第2次たばこ対策行動指針	算定に用いるデータの確定時期の関係から平成27年度の数値が最新値となる。

5 評価基準

最新数値が
a：目標値以上
b：目標値と前年度実績の中間値以上
c：目標値と前年度実績の中間値未満
d：前年度実績と同数
e：前年度実績未満

6 基準説明

目標値については、平成29年度に88.5%を達成するものとして各年度に達成すべき数値を設定しており、目標値以上の場合をaとし、以下b～eとして基準を設定した。
(目標値 24年度86.2%、25年度86.6%、26年度87.1%、27年度87.6%、28年度88.0%、29年度88.5%)

7 評価結果

27	28	29
e	c	d